

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
1	総合戦略1:安心して子育てができる栄町をつくる ～子育てがしやすい元気な栄町づくり～	<p>【栄町の児童生徒の学力向上(県下トップクラス、有名進学校の合格者多数輩出)】</p> <p>①小中一貫校化 町内唯一の栄中学校を母校化し町内4小学校を分校化することにより小中連携の実を上げる。(小中移行のスムーズ化と前倒しを図る。)</p> <p>②サタデーわくドラを平日わくドラに格上げ</p> <p>③公営学習塾の開設</p> <p>④全国で小中学校教育改革の成功事例を参考に栄町方式を編み出す i. イエナプラン[異学年学級で社会性を育む] ii. 麴町中学校方式[宿題・定期テストの廃止]などを参考に</p>	<p>①小中9年間を連携して育てる流れの確立を目指し、小中連携プロジェクト会議を設置し、義務教育の在り方について議論を深めているため意見として伺っておきます。</p> <p>②平日は、学校での学習及び宿題や家庭学習等があるため、平日は実施いたしません。</p> <p>③わくドラを実施しているため公営学習塾は開設しません。</p> <p>④イエナプランについては、異学年集団活動を清掃や集会活動で取り入れており、今後もそうした活動を推進していきます。また、宿題や定期テストについては、家庭学習の状況や県学力考査の結果を指標としていることから、今後も実施する方針です。</p>
2		<p>【文化・芸術・健康などの活動支援】</p> <p>①ふれあいプラザ・キッズランドの年中無休化(除く年末年始)</p> <p>②新規サークルの立ち上げ・活動支援(一定条件でふれプラ利用料金無償化)</p> <p>③文化ホール及びピアノなどの小中学校、学童生徒への無償利用</p> <p>④図書室の図書館化</p> <p>⑤トレーニングジムの開設</p>	<p>【戦略1-①-1「1-4」】</p> <p>①ふれあいプラザさかえの無休化については、考えていませんが、キッズランドの開所時間の拡大は、戦略1「子育てがしやすい環境づくり」の1-4「キッズランドの利用促進」の中で取り組んで行きます。</p> <p>②新規サークルの立ち上げ・活動支援は行っていますが、利用料金無償化については、考えていません。</p> <p>③町内の公立学校が直接使用する場合には、全額免除となっています</p> <p>④図書館化については、図書数やスペースなどの要件を満たせないため、本格的な図書館にすることはできません</p> <p>⑤新たにスポーツジムを開設するには、相当な費用が掛かることから、開設の予定はございません。</p>
3		<p>【文教都市にふさわしい安全で清潔な街づくり】</p> <p>①通学路、町内幹線道路などの安全対策</p> <p>②市街化区域内の街並み及び街路、公園の美化(都市計画税を利用)</p>	<p>【戦略1-②-1「1-2」】</p> <p>①通学路の安全対策については、戦略1-②-1「1-2子どもが安心して暮らせる環境づくり」の1-2「子ども達を交通事故から守るため危険箇所を改善する」の中で、取り組むこととしています。</p> <p>②【戦略3-①-1】 戦略3の①に「1-7 町並み及び街路・緑道や公園の美化・整備」に取り組みを追加します。</p>
4		新たに国際医療福祉大学成田病院関連出先病院施設(小児科、口腔外科、眼科、婦人科等)を誘致し、内部には子ども施設、ユニクロ、ドコモ等を併設	<p>【戦略1-①-1「1-2」・2「2-5」】</p> <p>①産科・小児科の誘致については、戦略1-①「子育てしやすい環境づくり」の1-2「出生率を上げていく」、2-5「児童に対する支援を推進する」の中で取り組むこととしています。</p> <p>②国際医療福祉大学成田病院関連出先病院施設の誘致は、病床数の規制があるため出来ません。</p>
5		学童保育時間を見直し、60分延長、自己負担なしで無償化	<p>【戦略1-①-2】</p> <p>近隣市町と同様に60分延長し19時までとしているため、更なる時間延長は考えていません。</p>

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
6	総合戦略1:安心して子育てができる栄町をつくる ～子育てがしやすい元気な栄町づくり～	<p>【子どもの学力が向上する学校づくり】</p> <p>1-2 地域の教育人材を活用して学力向上を図るところで、町出身の人材を活用し、栄での豊かな情操教育の場を開くべく、「わくわくドラム」の推進や、コミュニティスクールの実施など特色のある活動に加え、アーティストと出会い、本物のアートを体感し、ふるさとをアートで知ることのできる栄町でのアートプロジェクト「記憶美術館プロジェクト」の導入を希望する。これまでも2014年に酒直小学校でスタートし、現在もアーティストが学校での授業に参加したり、海外のゲストと生徒が学校で出会ったりと、他の市町村にはない地域人材(栄町卒業生)を活用した特色のある、情操教育として想像力を育み学力の向上につながる要素になっている。</p> <p>地域の教育人材の活用として町出身のアーティストや、若者たちを活用する場を増やし、子どもたちが表現豊かな学校作りを担い、屋外でも町を丸ごと美術館にする若者と子どもたちの作品で町が明るくなっている。</p> <p>地域の教育人材を活用して栄の情操教育として取り組みをお願いしたい。</p>	<p>【戦略1-③】</p> <p>①前段のプロジェクトについては、わくわくドラムでは町人材を活用した基礎学力の向上を目的に取り組んでいるため、現時点では考えていません。また、アートプロジェクトについても、学校教育の範疇を超えた事業であるため実施できません。</p> <p>②町出身のアーティストや若者の活用については、総合計画前期基本計画の基本目標6「きめ細かな学校教育の推進」の参考として伺っておきます。</p>
7		<p>子供たちが安心して暮らせる環境づくりのところ、町の公共施設の老朽化が進み、通学路の壁や、公園や公共物が町を暗いイメージにし、犯罪の起きそうな場所がある。</p> <p>①町内の中心になる公園の老朽化</p> <p>②壁面の劣化などを改善し、安心して明るく過ごせる場所をつくるべく、アートを用了再生プロジェクトに取り組んで頂きたい。</p> <p>既に安食台近隣公園、竜角寺台近隣公園では多くの人が危惧していた汚い・暗い・怖いイメージのあったトイレがアートで明るくなり、子供たちが安心して暮らせる環境となった。</p> <p>そのため、犯罪防止のための取り組みとしても通学路・公園などの防犯性を高めるパブリックアートの導入を広げていただきたい。</p>	<p>①【戦略1-②-「1-1」】</p> <p>戦略1-②-1「1-1」に「⑥安心して遊べる公園整備の推進」を追加します。</p> <p>②【戦略3-①-1「1-7」】</p> <p>戦略3の①に追加した「1-7 町並み及び街路・緑道や公園の美化・整備」の取組みの参考とさせていただきます。</p>
8	総合戦略2:地域特性を生かし、産業が活性化した栄町をつくる ～産業を活性化させ、働きやすい栄町づくり～	地方創生交付金を利用し、工業団地を拡大化(企業向けし、雇用の場を創出	<p>【総合戦略2-③-3-「3-1」】</p> <p>工業団地の拡張には取り組んでいきますが、工業団地の拡張は地方創生交付金の対象にはなっていません。</p>
9		農業を拡大化(黒豆、いちご、ミニトマト等)して観光用に。	<p>【総合戦略2-①-1-「1-1」】</p> <p>①黒豆については、黒豆街道づくりの中で観光も視野にいれて展開しくこととしています。</p> <p>②イチゴ・ミニトマトについてはご意見として伺っておきます。</p>
10		工業団地内に成田空港貨物施設を誘致	<p>【総合戦略2-③-3-「3-1」】</p> <p>現在、工業団地内は空きが無い状態です。</p>

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
11	総合戦略2: 地域特性を生かし、産業が活性化し栄町をつくる ～成田空港に近い利点を活かし多くの観光客が訪れる栄町づくり～	【地域活性化の新たな拠点づくり 1-1 利根川の見えるなど特色のある道の駅を整備するについて】 若者が注目する「道の駅」として栄町の歴史と現代アートを活かし、若者が住みたくなる、働きたくなる拠点になるよう若者たちが中心で意見を出し合い、栄町の道の駅で地域活性化の拠点作りを実現をして頂きたい。利根川の見えるなどだけではなく、アートな道の駅などコンテンツに加えて発信をしていくことで若者の関心を高めて頂きたい。同時にバリアフリーなどもアートな設計で取り組み、高齢者、子どもたちが全世代交流する場としてアートを活用して頂きたい。	【総合戦略2-②-1-「1-1」】 今後、道の駅の整備の際の、ご意見として伺っております。
12		【町を訪れる観光客を増加させ地域経済の活性化を図る栄町づくり】 ・活かされていない観光資源を発掘して活用するのところで、栄町を周遊する観光コンテンツとして「パブリックアートの導入」を行い、効果的な活性化の実現を要望する。栄町への観光客に町内にアートがあることを発信し、アートを絡めた観光ルートの活用で観光客を増加させ活性化して頂きたい。具体的には、 ①観光マップにアートマップを作成し、アートと食、農産物で栄町を周遊できるよう広範囲にわたり観光客を誘導し、町全体の活性化を行う。 ②レンタサイクルでアートを巡るコースを作成。 ③成田市との広域連携によってPR 効果を高め、房総のむらから坂田ヶ池や下総松崎駅周辺にアート作品を点在させ、アートをめぐりながらこのエリアの魅力を発信できるアートマップを作成して頂きたい。	【総合戦略2-④-4-「4-1」】 ①観光マップを活用して町の魅力をPRするに「(町に点在する観光資源などを結ぶ周遊マップ)」を追加します。 【総合戦略2-④-4-「4-5」】 ②レンタサイクルで観光資源を周遊するに「(成田市との連携)」を追加します。 【総合戦略2-④-4-「4-7」】 ③房総のむらから坂田ヶ池や下総松崎駅周辺の周遊マップを作成して魅力を発信するの中で、参考にさせていただきます。
13	総合戦略3: 若い世代をはじめ誰もが住みやすい栄町をつくる ～若い世代が転入したい、住み続けたい栄町づくり～	【営業時間外の切符券売・精算を可能にする(お客様目線の当然の対応)】 ①乗降客が他駅より多い無人の安食駅には切符券売機・精算機は必須である。 ②また、Suicaのチャージが可能なチャージ機も必須である。 ③紙幣詰まりなどは、役場職員や併設店舗等に業務委託することで対応する。 ※このような無残な駅を放置することは「栄町の恥」である。	【戦略3-③-5「5-1」】 ①自動券売機(Suicaチャージ機能含む)の稼働については、戦略3-③-5に「5-1 自動券売機の終日稼働の促進」を追加しました。 ②①の取組みと同様 ③自動券売機の管理に関する業務を請負う考えはありません。
14		【24時間営業のコンビニエンスストア、郵便局、道の駅、飲食店、アニメティ施設などの併設する魅力的な安食駅を目指す】 ①格安で店舗スペースを貸し出すことを条件に、積極的な誘致活動をする。 ②グランドピアノ等の楽器を常設 ③広い駐車スペースを確保する。	【戦略3-③-5「5-1」】 ①駅舎に併設する施設については、駅舎整備に関する基本構想策定の中で、ご意見として伺っております。 ②楽器を常設する考えはありません。 ③敷地が限られているため、広い駐車スペースの確保はできません。

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
15	総合戦略3:若い世代をはじめ誰もが住みやすい栄町をつくる ～若い世代が転入したい、住み続けたい栄町づくり～	<p>【お客様目線に立った駅舎の全面改装を実現(単なる建て替えではない)】</p> <p>①JR東日本、専門家・有識者および住民の叡智を集めて「日本一の無人駅」をめざす ⇒安食駅を日本一の無人駅にできれば、栄町のPR効果は抜群</p> <p>②改札口を二面(北・南)化するなど乗降客の動線の短縮化をめざす</p> <p>③駅舎の全面改装が遅れたことをチャンスにする(スケジュールありきではない) ⇒地元国会・県会議員や政党の理解と協力を得るとともに、町民および栄町、千葉県が一丸となって世論を味方につけてJR東日本と政府(国土交通省)を動かす</p>	<p>【戦略3-③-5「5-1」】</p> <p>①駅舎整備については、住民アンケートなどにより意見を伺いながら進めていきます。</p> <p>②改札口の二面化につきましては、JRから出来ないと言われていました。</p> <p>③駅舎整備を進めるうえでのご意見として伺っておきます。</p>
16		<p>【若者が転入しやすい栄町づくり】</p> <p>町のイメージアップを図るのところで、①若者が注目するアートイベントの開催や、古墳群などの歴史と現代アートのある栄町をPRでイメージアップを要望する。</p> <p>2014年以降、栄町の景色や歴史、地域を活かしたアート作品が制作され多くの話題を集めている中、今”アートと地域”は観光トレンドであり、若者や海外からの観光客はその町を検索する際に「〇〇(場所)、アート」と調べることが主流である。現在の栄町にはこの若者の求めるクオリティのアートを複数個持っており、このアートを最大限に活用した若者注目するアートイベントを開催することで栄町のイメージアップ、若者主体の活動など、これまでになかった観点で注目される。成田市、印西市などにはアートを活用したコンテンツは無いため都心、空港から若者を集められる。アートの視点で栄町の歴史、古墳群や自然と現代アートを回るイベントをコンテンツに含んで頂きたい。</p>	<p>【戦略3-①-2「2-1」】</p> <p>②戦略3-①-2「2-1 若者が注目するイベントを開催」の一つの手法として参考とさせていただきます。</p>
17		<p>【駅周辺施設の整備】</p> <p>①駅舎の改装、緑道改修時にアート(壁画、彫刻物等)を取り組んで頂きたい。</p> <p>②緑道をアートロードにし若者が町を散策するきっかけを創出していく。</p> <p>③都内での移住推進PRイベントを開催し、若者の興味を惹くアートのある町としてPRし興味を持たせる。</p>	<p>【戦略3-①-2「2-3」・③-5「5-1」】</p> <p>①駅舎の改築については、駅の基本構想を策定していく中でのご意見として伺っておきます。</p> <p>②戦略3の①に追加した「1-7 町並み及び街路・緑道や公園の美化・整備」の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>③戦略3-①-2「2-3 町のPRの推進」で取り組むこととしています。</p>
18		<p>移住推進PRイベントは、若者が集まるブランディングされた代官山T-SITEなどの場所で行うべきである。JR駅前とかだけではなく、個人と関われる場所で開催し、地元出身のアーティストとメディアを活用し都内でトークを開催したりとアート、水と緑の町を魅力的に発信し栄町のイメージアップにする。</p>	<p>【戦略3-①-2「2-3」】</p> <p>戦略3の2-3「町のPRの推進」の取組みの参考として伺っておきます。</p>

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
19	総合戦略3:若い世代をはじめ誰もが住みやすい栄町をつくる ～若い世代が転入したい、住み続けたい栄町づくり～	若者が転入しやすい栄町作りの若者が転入しやすくなる支援に取り組むのところで、栄町のアートについて町出身の若者たちが作成し、町が明るくなっている。「アートがある町」というのをPRすることで、若者が転入しやすくなり、若者の定住に有効的と考える。 そこで、若者世代の転入支援と同時に町で活躍する若者への支援も取り組むべきである。	【戦略3-①-2「2-3」】 戦略3-①-2「2-3 町のPRの推進」の取組みの参考として伺っておきます。
20		若者が転入しやすい栄町作りの町のイメージアップを図るのところで、栄町出身のアーティストと若者たちがアートを作成し、新聞などに取り上げられ、注目されている。町内の子どもたちもアートの作製に参加しており、町を盛り上げているイベントとして、町のイメージアップにもつながっている。 そのため、リバーサイドマラソンやイルミネーションなどのイベントのようにアートのイベントを開催することを提案する。 また、町のPRものやマップに栄町出身のアーティストを起用することで注目度を上げることを提案する。	【戦略3-①-2「2-1」】 戦略3-①-2「2-1 若者が注目するイベントを開催する」の取組みの参考として伺っておきます。
21	その他	第2次栄町総合戦略(案)を策定する前に、住民の意見を募集し、それらの意見を参考にして総合戦略を策定すべきだと考える。	本戦略を策定する際には、総合戦略会議に諮り策定方法や、意見聴取方法などについて同意を得たうえで策定しています。さらに、若者や子育て世代からも意見を聴きながら策定したものです。
22		本総合戦略(案)の中に多くの町民が望む他市町との「合併」や「連携」がほとんどありません。栄町の現状と課題を正しく認識した上で、町民の要望に応える意味でも総合戦略(案)にはそれらを含めた戦略を策定すべきと考える。	前期基本計画の基本目標8に関わってくることなので、後期基本計画づくりの参考として伺っておきます。
23		【栄町の方向性と将来像】 ・あるべき未来像 北総地域(成田国際空港を中心とした成田市および首都圏と直結する千葉ニュータウンを擁する印西市など)の発展とともに栄町に住む市民の幸せを実現 ⇒栄町単独での生き残りには限界があるのは明白 ・最終的には両市との合併を実現し北総地域の中核都市を目指す ⇒候補名:新東京市[かつての新東京国際空港にちなんで 北総市[下総国の別称]]など ⇒合併は関係市町との合意が得られなければ実現しない、栄町の自助努力と県と国の支援により実現に向けて努力する ※市町村の合併を支援する「合併特例法(本年3月に期限を迎える)」は10年間延長される見込み	前期基本計画の基本目標8に関わってくることなので、後期基本計画づくりの参考として伺っておきます。

人口ビジョン(案)及び第2次総合戦略(案)への意見等に対する町の方針

NO	項 目	ご意見など	町の方針
24	その他	<p>【合併の前段として近隣市町との広域連携を積極的に行う】</p> <p>①成田市及び印西市との行政サービスの相互利用、協業化を促進、EX、防災協定の一体化、公民館・ふれプラ等施設の相互利用、房総のむらと坂ヶ池総合公園の一体化(県・成田市・栄町のコラボ)、リバーサイドマラソンの共催化(フルマラソンに格上げ)、花火大会の共催化など</p> <p>②行政サービスの一部を成田市および印西市との共同処理あるいは両市へのアウトソーシング</p>	前期基本計画の基本目標8に関わってくることなので、後期基本計画づくりの参考として伺っておきます。
25		行政サービスレベルを近隣市町のレベルまで引き上げる。	基本的なサービスは法等に準拠して実施しているため、他市町との違いはありません。また、独自のサービスについては、それぞれの市町の実情によって違ってくるものと考えます。
26		歳出を精査し無駄遣いがあればカットし住民税等の負担軽減を図る。	ご意見については、前期基本計画の基本目標8に掲げてありますが、経費の徹底的な節減・合理化を図るとともに、町税などの自主財源を安定的に確保し、持続可能で健全な財政運営を推進していきます。
27		職員の再配置(直間比率を改善[住民サービス部門への重点配置])	住民サービス部門とはどこを指すのか不明ですが、福祉や介護部門などについては、同規模の自治体よりも多く配置しており、職員の削減を進めていく必要性が高まっている中、現状以上の配置は困難です。
28		<p>【栄町「政策サポーター」の創設】</p> <p>①栄町には公務員や企業人、農商工など自営業に携わってきた経験豊かで有能な人材が多数存在⇒彼らの力を使わない手はない</p> <p>②有能な人材に「政策サポーター」として政策立案に参画</p> <p>③「政策サポーター」は自薦他薦により選出</p> <p>④「政策サポーター」には一定の報酬(日当など)を支給</p>	町では様々な分野で構成する「栄町政策審議会」を設置して、ご意見を伺っていますので、政策サポーターの設置は考えていません。
29		<p>【議会活性化(住民と議会との距離を縮める)】</p> <p>①傍聴人を増やす(私の経験では常時3名程度が傍聴)</p> <p>i.「広報さかえ」や防災無線などで議会傍聴を積極的に町民にアピール</p> <p>ii.町長を筆頭に栄町職員及び町会議員による町民への働きかけ</p> <p>iii.自治会及び町内各団体への働きかけ</p> <p>②町議会議員と住民との対話集会(定例議会終了後に年4回開催)</p>	町議会の関係については、議員自らが決定するものであり、町の執行部で決められるものではないため、ご意見として伺っておきます。
30		<p>【栄町議会議員の定数削減】</p> <p>現行14名から10名～12名程度に削減</p> <p>⇒タイムラグはあるが削減コストは「政策サポーター」コストなどに充当</p>	町議会の関係については、議員自らが決定するものであり、町の執行部で決められるものではないため、ご意見として伺っておきます。